

Ⅲ事業の実績報告

(令和2年度)

1 地域リハビリテーション推進強化事業

地域リハビリテーションの基本理念である「障害のある人も高齢者も、地域で自分らしい生活を安心して送ることができる社会」の実現のため、県内の地域リハビリテーション支援体制を推進し、さらに、平成25年度からは障害児者に対する支援の充実を図ってきました。

(1) 推進体制整備事業

① 県内関係機関・団体とのネットワーク推進

イ 地域リハビリテーション推進強化事業に係る関係団体との連携

開催月日	内 容	出席者
R3. 1. 23	宮城県リハビリテーション医会 災害リハビリテーションについて	医師等 20人
R2. 12. 19 R3. 2. 14	東北摂食嚥下リハビリテーション研究会 幹事会 第16回研修会の検討	医師・歯科医師等 15人

ロ 関連する会議・研修会等への参加

開催月日	会議・研修名	主 催
R3. 1. 14	宮城県リハビリテーション協議会	障害福祉課
R3. 1. 19	宮城県障害者自立支援協議会	
R2. 12. 22 R3. 2. 2	「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」 「知的障害者を対象とする社会生活・職業を学ぶ学科の構築と 実証」実施委員会	仙台リハビリテーション専門学校

ハ 関係各課実施事業への協力

開催月日	関係各課	協力内容	参加者
研修会は 中止	総合教育センター	重度・重複障害教育研修会（講師）	新型コロナウイルス感染症対策等の理由により中止
児童相談所への協力			
R2. 12. 10	北部児童相談所	発達障害児家族支援事業（家族教室）（講師）	保護者 16人
R3. 2. 15	東部児童相談所	言語相談に係る研修会及び事例検討会（講師）	職員 8人 事例 2人
年1回	北部児童相談所	言語相談	対象児 2人
	東部児童相談所 気仙沼支所	言語相談	対象児 1人
通 年	長寿社会政策課	介護職員勤務環境改善支援事業 ロボット等介護機器導入支援事業セミナー等 介護予防関係	職員 8人

② 地域リハビリテーション事業担当者会議

開催月日	内 容	参 集 者
R2. 8. 3	第1回地域リハビリテーション事業担当班長・担当者会議 (Web 開催) (1) 第Ⅱ期取組方針の評価と今後の事業の方向性について (2) リハビリテーション相談における個別事例集積について等	保健福祉事務所地域リハ事業担当班長・担当者, 障害福祉課地域生活支援班担当班長・担当者等 26人
R2. 11. 12	地域リハビリテーション事業に係る意見交換会 第Ⅱ期取組方針の評価と今後の事業の方向性について	保健福祉事務所地域リハ事業担当者 8人
R2. 11. 25	地域リハビリテーション事業に係る事業説明会 (Web 開催) 第Ⅱ期取組方針の評価と今後の事業の方向性について	保健福祉事務所地域リハ事業担当班長・担当者, 障害福祉課地域生活支援班担当班長・担当者等 23人
R3. 3. 16	第2回地域リハビリテーション事業担当班長・担当者会議 (Web 開催) (1) 個別事例集積結果報告について (2) 今後の事業の方向性について (3) その他	保健福祉事務所地域リハ事業担当者, 障害福祉課地域生活支援班担当班長・担当者等 29人

ほか、事業にかかるヒアリング（保健福祉事務所7ヶ所）を通年実施。

③ 保健福祉事務所支援（4回）

依頼事務所名	事業名 内 容 等	回数	支援スタッフ
仙台保健福祉事務所	専門的・技術的支援事業 リハビリテーション相談 福祉用具の選定	1	PT1 OT1
北部保健福祉事務所	専門的・技術的支援事業 リハビリテーション相談 事例検討	2	OT1
気仙沼保健福祉事務所	心身障害児等発達支援事業（ことばの相談協力）	1	ST1

④ 全県の課題解決に向けた取組

イ 障害領域のリハ職活用促進事業（専門職確保対策事業を変更）

開催月日	概 要	内 容
研修会は中止	障害領域で働くリハ専門職向け専門研修 （福祉用具研修, 情報交換会）	新型コロナウイルス感染拡大に伴い研修会は中止とし、当センターで平成25年度、29年度、30年度に実施した「障害福祉領域におけるリハビリテーション専門職の活動に関する調査」の取り纏め、障害福祉サービス事業所に勤務するリハ専門職から情報収集を行い、障害福祉サービス事業所で働くリハ専門職の活動紹介を行うホームページ掲載案を作成した。

ロ 障害の理解・普及啓発促進研修（若年障害者の社会参加促進事業）

開催月日	概要	内容
研修会は中止	障害のある方の社会参加・生きがいを支えるための研修会	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、依頼講師の対応が難しいことから研修会は中止し、次年度の事業に繋げるため、中途障害や若年障害者の就労支援を行っている機関から情報収集を行った。

ハ 福祉用具セミナー

開催月日	概要	内容
R3. 2. 25 R3. 3. 3 R3. 3. 5	福祉用具セミナー ～障害者の自立生活を支える福祉用具～	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止とし、コミュニケーション機器体験会と統合し実施した。

ニ リハビリテーション専門職従事状況調査等

調査内容	件数
宮城県内のリハビリテーション関係診療報酬基準取得状況調べ	1
病院・診療所、介護サービス施設・事業所におけるリハビリテーション専門職の従事状況調査	1
リハビリテーション専門職養成課程の卒業生の就職状況等調査	1
リハビリテーションサービス資源情報調査	1

ホ 摂食嚥下地域リハビリテーション推進事業（定期実施事業。令和2年度実施せず）

ヘ 地域リハビリテーション推進強化事業取組方針（平成30年度から令和2年度）の評価

概要	内容
<ul style="list-style-type: none"> 取組方針に係る取組実績と課題の整理 リハビリテーション相談事業における事例集積（平成30年4月～令和2年8月）と分析 	宮城県地域リハビリテーション連携指針に基づく取組方針の評価、リハビリテーション相談事業において平成30年4月～令和2年8月までに対応した168事例について分析し、令和3年度以降の方針（案）を作成した。

⑤ 地域リハビリテーション事業担当職員研修

開催月日	内容
研修会は中止	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当該事業担当者の招集が難しくなったことから当所における研修会は中止とし、オンデマンド配信による国立のぞみの園セミナー2020「障害のある人の健康診断～幼児期から必要なこと～」を受講することで、担当職員の知識の向上を図った。

(2) 専門的・技術的支援事業

市町村等が実施する保健福祉に関する事業について、保健福祉事務所からの依頼に基づき、専門的な指導・助言や専門スタッフを派遣した。また、保健福祉事務所や支援機関が必要とするリハビリテーション関連物品の貸出を行いました。

① 市町村等事業支援（6回）

保健福祉事務所等名	内容等	回数	派遣スタッフ
気仙沼保健福祉事務所	・ことばの発達と関わりについての講話 ・事例検討会への助言	1	ST1
名取市	・名取市介護予防のための地域ケア個別会議の定着支援（オブザーバーとして会議に出席）	3	PT3, OT1
長寿社会政策課	・介護職員勤務環境改善支援事業に係る技術的支援 ・ロボット等介護機器導入支援事業に係る技術的支援	2	PT2

② リハビリテーション相談（2件）

保健福祉事務所名	支援内容	回数	派遣スタッフ
仙南保健福祉事務所	・知的高齢障害者の嚥下機能評価 ・支援の方向性の検討	1	ST1
北部保健福祉事務所	・認知症の方の認知機能、言語評価 ・コミュニケーションの代替手段の検討	1	ST1

電話相談 10件 (PT3, OT4, ST3)

③ ALS患者等に対するコミュニケーション支援

イ コミュニケーション相談（4件）

保健福祉事務所名	支援内容	回数	派遣スタッフ
仙南保健福祉事務所	難病患者に対するコミュニケーション機器の検討	1	ST1
仙台保健福祉事務所	同上	1	OT1, PT1
東部保健福祉事務所	同上	2	OT2, PT2

電話相談 30件 (PT10, OT11, ST9)

ロ ALS患者等支援に関する研修会

開催月日	研修会名	概要	参集者
R3. 2. 25 R3. 3. 3 R3. 3. 5	コミュニケーション機器体験会 (会場：当センター)	(1) コミュニケーション機器に係る制度概要について (2) コミュニケーション機器の種類について (3) 重度障害者用意思伝達装置「伝の心」「TC スキャン」、各種スイッチの体験	訪問看護事業所、市町村等 23人

④ 福祉用具等支援

保健福祉事務所が支援に必要な関連物品の貸出・整備，簡易な福祉用具の製作に係る技術支援を行いました。また，機器や運転支援に係る相談等に応じました。

イ 関連物品貸出状況

〈貸出物品数 延べ102件〉

種別	コミュニケーション支援関係									その他	
	重度障害者用 意思伝達装置	固定台	入力装置 固定台	呼び鈴	呼び鈴 分岐装置	入力 スイッチ	遠隔制御 装置	音声補助 装置	その他	車いす等	その他の 福祉用具
計	10	5	9	9	4	23	0	0	14	1	27

〈貸出先〉

機関	保健福祉事務所							仙台市	医療 機関	訪問看護 ステーシ ョン	障害者 関連施 設	そ の 他
	仙南	仙台	北部	栗原	登米	東部	気仙沼					
回数	5	5	0	0	0	12	0	0	1	1	7	1
物品数	10	13	0	0	0	49	0	0	6	3	20	1

ロ 福祉用具の製作・改造等技術支援

保健福祉事務所名	支援内容
R2年度は，	新型コロナウイルス感染防止に伴い中止

ハ 展示見学者対応

種別	件数	内容
見学	9	支援者，業者等 22人
相談	4	コミュニケーション機器・福祉用具等試用等 4人
講話等	7	宮城大学，研修受講者等 41人

ニ 運転相談

種別	件数	内容
来所相談	0	-
見学	7	宮城大学，研修受講者等 41人
電話相談	13	・運転再開の流れに係る問合せ，自動車改造に係る業者の問合せ ・自動車教習所の情報の問合せ 等

(3) 調査・研究事業

平成 29 年度から「障害福祉領域で働くリハビリテーション専門職の活動」をテーマに、サービス種別に調査を実施しています。

プログラム・ツール等作成では、運賃等の制度改正があったことから、「障害のある方・高齢の方とその家族のための旅行サポートブックみやぎ」に関するホームページの情報更新を行い、普及啓発を図りました。

① 調査・研究

テーマ	内 容	結果概要
障害福祉領域リハビリテーション専門職の活動に関する調査	宮城県内の就労支援事業所におけるリハ専門職の雇用状況及びリハ専門職種の活動状況に関する調査のまとめ	リハビリテーションサービス資源情報調査より、県内におけるリハ専門職種の雇用が確認できた就労支援事業所は少なく、8 事業所のみであった。若年障害者の社会参加促進事業と併せて、中途障害や若年障害者の就労支援を行っている機関から情報収集を実施。

② プログラム・ツール等作成

タイトル	内 容
「障害のある方・高齢の方とその家族のための旅行サポートブックみやぎ」に関するホームページの更新	古い情報であることの追加記載と、変更になった制度について内容修正を実施。

2 身体障害者更生相談事業

政令指定都市である仙台市を除く県内の身体障害者に対し、身体障害者手帳の交付を行うとともに、身体障害者の福祉の推進を図るため、補装具の支給に当たっての判定・相談や障害の程度を軽減する医療（自立支援医療）の要否判定等を行い、身体障害者の日常生活能力の回復・向上を目指し、社会参加活動の促進を支援しました。また、身体障害者福祉に携わる関係者に対して研修会等を開催するなど技術的な支援を行いました。

(1) 身体障害者手帳の交付等

① 身体障害者手帳交付処理件数調

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	229	188	285	220	280	237	244	278	251	224	229	281	2,946
再交付	120	122	160	104	137	96	134	140	96	95	123	154	1,481
計	349	310	445	324	417	333	378	418	347	319	352	435	4,427

② 身体障害者障害別・程度別一覧

(単位：人)

障害別 等級	視覚障害	聴覚・平衡 機能	音声・言語 ・そしゃく 機能	肢体不自由	内部障害	計
1級	944	52	20	3,910	9,840	14,766
2級	900	1,038	26	4,570	182	6,716
3級	191	483	309	4,061	2,592	7,636
4級	227	859	197	5,861	3,891	11,035
5級	372	16		3,520		3,908
6級	196	1,160		1,366		2,722
計	2,830	3,608	552	23,288	16,505	46,783
構成比	6.0%	7.7%	1.2%	49.8%	35.3%	100.0%

(令和3年3月31日現在、仙台市を除く。)

③ 身体障害者手帳交付状況・所持件数の推移

(単位：所持者数)

障害別 年度	視覚障害	聴覚・平衡 機能	音声・言語・ そしゃく機能	肢体不自由	内部障害	計
H28	3,047	3,755	613	26,204	16,194	49,813
H29	2,989	3,725	603	25,487	16,292	49,096
H30	2,981	3,693	598	24,956	16,489	48,717
R1	2,969	3,717	572	24,288	16,652	48,198
R2	2,830	3,608	552	23,288	16,505	46,783

(参考) 仙台市

R2	2,231	2,504	445	16,106	11,515	32,801
----	-------	-------	-----	--------	--------	--------

(注) 重複障害者の場合は、より重い障害の方に、障害程度が同じ場合には表の中で左側にあるほうに計上している。

④ 障害等級別身体障害者手帳所持者

(単位：所持者数)

障害名	級	県	仙台市	合計	障害名	級	県	仙台市	合計
視覚障害	1	944	730	1,674	機能障害 心臓	1	6,454	4,653	11,107
	2	900	765	1,665		2	55	33	88
	3	191	100	291		3	1,333	808	2,141
	4	227	182	409		4	1,216	672	1,888
	5	372	369	741		計	9,058	6,166	15,224
	6	196	85	281		1	3,128	2,332	5,460
聴覚障害	計	2,830	2,231	5,061	機能障害 じん臓	2	23	21	44
	1	50	44	94	3	563	304	867	
	2	1,036	743	1,779	4	21	9	30	
	3	470	232	702	計	3,735	2,666	6,401	
	4	857	629	1,486	機能障害 呼吸器	1	181	100	281
	5	5	3	8	2	23	19	42	
平衡機能障害	6	1,160	830	1,990	3	542	475	1,017	
	計	3,578	2,481	6,059	4	151	96	247	
	1	2	0	2	計	897	690	1,587	
	2	2	0	2	機能障害 ぼうこう・ 直腸	1	11	7	18
	3	13	6	19		2	17	6	23
	4	2	0	2		3	117	95	212
5	11	17	28	4		2,460	1,628	4,088	
計	30	23	53	計		2,605	1,736	4,341	
機能障害 音声言語 そしゃく	1	20	30	50	機能障害 小腸	1	14	16	30
	2	26	31	57		2	5	4	9
	3	309	229	538		3	11	7	18
	4	197	155	352		4	20	5	25
	計	552	445	997		計	50	32	82
肢体不自由	1	3,910	3,181	7,091	機能障害 免疫	1	6	17	23
	2	4,570	3,226	7,796		2	37	77	114
	3	4,061	2,713	6,774		3	12	34	46
	4	5,861	3,953	9,814		4	13	22	35
	5	3,520	2,188	5,708		計	68	150	218
	6	1,366	845	2,211	機能障害 肝臓	1	46	55	101
	計	23,288	16,106	39,394		2	22	12	34
※重複障害は重い方に計上				3		14	3	17	
				4		10	5	15	
				計	92	75	167		
				合計	46,783	32,801	79,584		

(2) 補装具の処方及び適合判定

① 判定・相談依頼の状況（市町村別）

（単位：件）

	来所相談				巡回相談	合計			
	肢体 不自由	聴覚	視覚	計	肢体 不自由	肢体 不自由	聴覚	視覚	計
石巻市	9	44	0	53	46	55	44	0	99
塩竈市	25	11	0	36	7	32	11	0	43
気仙沼市	3	16	0	19	22	25	16	0	41
白石市	6	7	0	13	11	17	7	0	24
名取市	31	19	0	50	2	33	19	0	52
角田市	3	19	0	22	3	6	19	0	25
多賀城市	16	11	0	27	5	21	11	0	32
岩沼市	26	8	0	34	0	26	8	0	34
登米市	6	18	0	24	36	42	18	0	60
栗原市	3	23	0	26	39	42	23	0	65
東松島市	5	13	0	18	8	13	13	0	26
大崎市	8	32	0	40	55	63	32	0	95
富谷市	9	4	0	13	4	13	4	0	17
蔵王町	0	1	0	1	2	2	1	0	3
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	8	6	0	14	2	10	6	0	16
村田町	8	4	0	12	1	9	4	0	13
柴田町	18	14	0	32	3	21	14	0	35
川崎町	2	3	0	5	1	3	3	0	6
丸森町	2	1	0	3	2	4	1	0	5
亘理町	16	12	0	28	1	17	12	0	29
山元町	6	3	0	9	0	6	3	0	9
松島町	3	2	0	5	5	8	2	0	10
七ヶ浜町	7	3	0	10	1	8	3	0	11
利府町	9	8	0	17	11	20	8	0	28
大和町	5	7	0	12	6	11	7	0	18
大郷町	2	2	0	4	5	7	2	0	9
大衡村	1	2	0	3	4	5	2	0	7
色麻町	0	1	0	1	0	0	1	0	1
加美町	1	6	0	7	12	13	6	0	19
涌谷町	3	2	0	5	5	8	2	0	10
美里町	2	7	0	9	12	14	7	0	21
女川町	0	1	0	1	2	2	1	0	3
南三陸町	3	1	0	4	1	4	1	0	5
県外	0	0	0	0	1	1	0	0	1
合計	246	311	0	557	315	561	311	0	872

※判定依頼書・相談依頼書受案件数

② 判定・相談の実施状況（市町村別）

（単位：件）

	所内相談						巡回相談			合計			
	肢体不自由			聴覚	視覚	計	肢体不自由			肢体不自由	聴覚	視覚	計
	来所	文書	計				巡回	在宅	計				
石巻市	22	0	22	43	0	65	82	8	90	112	43	0	155
塩竈市	22	33	55	11	0	66	5	5	10	65	11	0	76
気仙沼市	9	0	9	17	0	26	38	0	38	47	17	0	64
白石市	20	1	21	6	0	27	18	1	19	40	6	0	46
名取市	75	3	78	19	0	97	0	3	3	81	19	0	100
角田市	6	0	6	19	0	25	6	2	8	14	19	0	33
多賀城市	32	11	43	10	0	53	11	1	12	55	10	0	65
岩沼市	49	0	49	8	0	57	1	3	4	53	8	0	61
登米市	20	0	20	18	0	38	67	1	68	88	18	0	106
栗原市	10	0	10	23	0	33	65	8	73	83	23	0	106
東松島市	9	0	9	13	0	22	13	3	16	25	13	0	38
大崎市	22	2	24	32	0	56	88	12	100	124	32	0	156
富谷市	17	1	18	4	0	22	2	4	6	24	4	0	28
蔵王町	3	0	3	1	0	4	2	1	3	6	1	0	7
七ヶ宿町	18	0	18	0	0	18	0	0	0	18	0	0	18
大河原町	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0	6	0	6
村田町	20	0	20	4	0	24	0	4	4	24	4	0	28
柴田町	42	2	44	14	0	58	2	10	12	56	14	0	70
川崎町	4	0	4	3	0	7	0	4	4	8	3	0	11
丸森町	5	0	5	1	0	6	3	0	3	8	1	0	9
亘理町	35	0	35	12	0	47	0	2	2	37	12	0	49
山元町	11	0	11	3	0	14	0	0	0	11	3	0	14
松島町	7	3	10	2	0	12	3	5	8	18	2	0	20
七ヶ浜町	19	0	19	3	0	22	0	2	2	21	3	0	24
利府町	15	10	25	8	0	33	13	6	19	44	8	0	52
大和町	14	2	16	7	0	23	8	0	8	24	7	0	31
大郷町	1	2	3	2	0	5	5	2	7	10	2	0	12
大衡村	2	0	2	2	0	4	5	3	8	10	2	0	12
色麻町	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	2
加美町	6	0	6	6	0	12	19	1	20	26	6	0	32
涌谷町	5	2	7	2	0	9	7	0	7	14	2	0	16
美里町	7	0	7	7	0	14	19	0	19	26	7	0	33
女川町	0	0	0	1	0	1	5	0	5	5	1	0	6
南三陸町	7	1	8	1	0	9	4	0	4	12	1	0	13
県外	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	2
合計	534	73	607	309	0	916	494	91	585	1,192	309	0	1,501

※判定（適合判定・仮合せを含む）、相談の実施件数

③ 補装具判定結果の状況（種目別・年度別）

（単位：個）

年 度	義 手	義 足	下肢装具				靴型装具	体 幹 装 具	上 肢 装 具	義 眼	眼 鏡	補 聴 器	電 動 車 椅 子	車椅子			歩 行 器	座 位 保 持 装 置	意 思 伝 達 装 置	そ の 他	計
			長 下 肢 装 具	短 下 肢 装 具	膝 装 具	そ の 他								自 走 式	介 助 用	そ の 他					
H28	16	77	20	294	10	22	39	3	1	0	0	349	40	99	69	1	2	26	28	5	1,101
H29	15	80	14	301	12	61	25	2	9	0	0	298	33	111	67	0	5	29	23	9	1,094
H30	19	71	7	319	9	25	38	2	4	0	0	316	41	127	55	0	2	22	20	6	1,083
R1	16	80	18	329	14	53	48	2	6	0	0	347	28	109	61	4	2	25	24	8	1,174
R2	11	58	9	298	21	34	29	1	8	0	0	338	36	80	26	3	0	18	8	8	986

④ 特例補装具判定状況

種 別	名 称	判定件数	判定結果	
			適	否
車椅子	電動リフト式 手動車椅子	1	1	0
歩行器	抑速ブレーキ付	1	1	0
計		2	2	0

⑤ 難病に伴う補装具判定状況

判 定 件 数	手 帳 あ り	手 帳 な し	病 名	件 数	補装具種目	件 数
37	29	8	筋萎縮性側索硬化症	5	車椅子	10
			筋ジストロフィー	9	電動車椅子	7
			脊髄小脳変性症	2	意思伝達装置	5
			関節リウマチ	2	短下肢装具	4
			シャルコー・マリー・トウス病	2	上肢装具 (BFO)	4
			HTLV-1 関連脊髄症	1	その他	9
			その他	16		

※補装具の合計は判定件数と一致しない場合がある。

(3) 自立支援医療（更生医療）の要否判定及び医療機関の指定

① 判定の実施状況（市町村別・障害別）

（単位：件）

	腎臓	心臓	小腸	肝臓	免疫	肢体	口蓋	聴覚	その他	計		腎臓	心臓	小腸	肝臓	免疫	肢体	口蓋	聴覚	その他	計
	石巻市	142	0	0	2	11	3	0	0	0		158	丸森町	10	1	0	0	0	2	0	0
塩竈市	24	5	0	0	2	2	0	0	0	33	亙理町	20	0	0	1	1	13	0	0	0	35
気仙沼市	26	0	0	1	1	1	0	1	0	30	山元町	3	0	0	0	0	3	0	0	0	6
白石市	25	1	0	1	2	4	0	0	0	33	松島町	29	3	0	0	1	0	0	0	0	33
名取市	22	0	0	1	2	28	2	0	0	55	七ヶ浜町	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
角田市	20	0	0	0	0	6	0	0	0	26	利府町	7	2	0	0	4	0	0	0	0	13
多賀城市	23	5	2	0	1	4	0	0	0	35	大和町	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
岩沼市	9	0	0	1	6	17	0	0	0	33	大郷町	1	0	0	0	0	3	0	0	0	4
登米市	57	1	0	0	2	6	1	0	0	67	大衡村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栗原市	70	0	0	0	1	16	0	0	0	87	色麻町	2	0	0	0	0	2	0	0	0	4
東松島市	27	1	0	0	1	2	1	0	0	32	加美町	9	1	0	0	0	2	4	0	0	16
大崎市	126	1	0	1	7	4	0	0	0	139	涌谷町	18	0	0	0	0	0	0	0	0	18
富谷市	28	0	0	1	0	1	0	0	0	30	美里町	14	0	0	0	1	3	0	0	0	18
蔵王町	15	0	0	0	0	1	0	0	0	16	女川町	17	0	0	0	0	0	0	0	0	17
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	南三陸町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
大河原町	11	0	0	0	0	5	0	0	0	16											
村田町	12	1	0	0	2	4	0	0	0	19											
柴田町	12	0	0	0	3	6	0	0	0	21											
川崎町	3	0	0	0	0	1	0	0	0	4	計	797	22	2	9	49	139	8	1	0	1,027

② 医療機関指定等処理状況

（単位：件）

	病院・診療所	薬局	訪問看護
新規	2	23	2
廃止	0	12	0
辞退	4	0	0
変更	4	81	1
更新	4	33	0
満了	0	1	0
計	14	150	3

(4) 地域リハビリテーション推進事業

① 身体障害者地域リハビリテーション相談事業

地域における身体障害者のリハビリテーションの充実強化を目的に、保健、医療、福祉等の各関係機関との連携を図りながら、補装具判定等で相談会場に来所困難な重度身体障害者、又は在宅で相談・指導を行う方がより効果的と思われる対象者に対して、在宅訪問を関係機関の担当職員との協力のもとに実施しました。

② 補装具適正化事業

福祉用具等関係職員研修会・補装具関係職員研修会については新型コロナウイルス感染拡大のため中止しました。

補装具判定業務に関しては、外部からの委員も参加して開催する補装具判定審査会（1回）及び所内の職員で構成する補装具判定検討委員会（定例5回、臨時2回）を開催しました。

補装具判定審査会では、特例補装具の判定状況と難病患者等に対する補装具の取扱いなどについて、補装具判定検討委員会では判定困難事例や内規の改正などについて協議を行いました。

イ 補装具適正化研修

研修名	実施状況 (年月日)	会場	研修対象者	参加数	研修内容
福祉用具等関係職員研修会	新型コロナウイルス感染症対策等の理由により中止。	-	市町村身体障害者福祉担当職員	-	-
補装具適正化研修 (補装具製作者研修会)	新型コロナウイルス感染症対策等の理由により中止。	-	補装具製作者等	-	-

ロ 補装具判定審査会

年月日	内容
R3. 3. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度特例補装具判定状況について ・困難事例紹介 <ul style="list-style-type: none"> 皮膚トラブルへの適応に難渋した短下肢装具の事例 アクティブギプスを処方した顔面肩甲上腕型筋ジストロフィーの事例 ・報告 <ul style="list-style-type: none"> ゲイトソリューション足継手処方ケースのまとめ 補装具判定における新型コロナウイルス感染症対策

ハ 補装具判定検討委員会（定例）

年月日	内 容
R2. 5. 29	<ul style="list-style-type: none"> ・補装具関連業務の今年度の体制について ・補装具判定審査会外部委員について ・標準靴の価格について ・靴型装具（靴の補高のみ）の判定について ・ゲイトソリューション足継手の処方する際のチェックリストについて
R2. 7. 31	<ul style="list-style-type: none"> ・骨格構造義肢の修理における完成用部品の記載について ・標準靴のみ支給する際の記載について ・ゲイトソリューション足継手の処方する際のチェックリストについて【第二報】 ・補装具判定審査会について
R2. 10. 31	<ul style="list-style-type: none"> ・標準靴の価格について ・MOMOプライム（上肢装具BFO）の算定方法について ・TCスキャンの付属品（プリンター）の取扱について ・トーキングエイドプラスの特例補装具の考え方について ・ソフトウェア一体型機器の考え方について
R2. 12. 18	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の所内・巡回相談について ・令和2年度補装具判定審査会について ・大車輪脱着ハブの取り扱いについて ・補聴器の両耳支給の要件について ・意思伝達装置の整理について
R3. 2. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 補装具判定審査会について ・令和3年度 補装具判定検討委員会・審査会の予定について ・補聴器両耳支給の要件について（第2回） ・令和2年度補装具フォローアップ事業について ・補装具フォローアップ全国アンケート結果の紹介

二 補装具判定検討委員会（臨時）

年月日	内 容
R2. 4. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・ペルモビール電動車椅子の扱いについて
R2. 6. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・上肢装具 アクティブギブスの支給について

③ 障害者支援施設利用者相談事業

補装具を使用している障害者支援施設等の利用者に対し、補装具使用状況の確認や使用環境の評価、また、職員に対して補装具の装着や使用方法を指導する等の支援を行っています。

令和2年度は補装具判定（仮合わせ・適合判定を含む）を施設で行った29回のうち、4回について、使用状況、使用環境の確認を行い、適切な補装具の支給につなげました。

④ 身体障害者福祉担当職員等研修会

研修名	実施年月日	会場	研修対象者	参加者数	研修内容
身体障害者福祉担当新任職員研修会	R2. 5	書面開催	市町村身体障害者福祉担当職員	各市町（仙台市を除く。）	「身体障害者更生相談所概論」 「身体障害者手帳について」 「自立支援医療（更生医療）について」 「補装具の基礎知識」 「補装具の判定について」 等
身体障害者福祉担当現任職員研修会	R2. 12	書面開催	市町村身体障害者福祉担当職員	各市町（仙台市を除く。）	「身体障害者手帳について」 「自立支援医療（更生医療）について」 「補装具の判定について」 等

⑤ 地域生活支援スタッフ研修会

障害者に対し、地域リハビリテーション推進のために取り組んでいる専門技術職を対象に研修会を開催し、ネットワークづくりを図っています。

日時：令和2年11月30日(月)、12月1日(火)、3日(木)、4日(金)

午後2時から午後2時30分まで

テーマ：～ 補装具って何？Ver.2～

内容：○講義（ビデオ視聴）

「補装具支給制度と活用例について」

講師 宮城県保健福祉部技術参事兼宮城県リハビリテーション支援センター 檜本修

「補装具の申請と相談ルートについて」

講師 宮城県リハビリテーション支援センター 職員

「短下肢装具の種類と特徴について」

講師 宮城県リハビリテーション支援センター 職員

○体験 「短下肢装具装着体験」

参加者：33人

※新型コロナウイルス感染症予防のため、1回10名程度に人数制限し、また、講義はビデオ録画したものを視聴する方法で開催。

3 知的障害者更生相談事業

政令指定都市である仙台市を除く県内の18歳以上の知的障害者について、本人・家族、市町村及び知的障害者に係る施設からの相談依頼に応じ、医学的判定、心理学的判定及び職能的判定に基づく総合判定とともに、これに付随した相談支援を行い、知的障害者の更生援護の推進に努めました。

また、各種の援護を受けやすくするための療育手帳に係る相談判定については、市町村との連携構築に努めながら実施しました。

(1) 療育手帳の交付事務処理状況

(単位：件)

		前年度末 現在 【a】	新規交付 (年度中) 【b】	転入 (年度中) 【c】	転出・返還 (年度中) 【d】	変更 (年度中)		年度末 現在
						18歳に 達した場合 【e】	障害程度 【f】	
A (重 度)	18歳未満	611	35	6	5	(90)	65	622
	18歳以上	3,956	3	4	76	90	38	4,015
B (中軽度)	18歳未満	2,017	296	35	29	(224)	(65)	2,030
	18歳以上	5,443	46	25	57	224	(38)	5,643
計		12,027	380	70	167			12,310

※年度末現在は【a】＋【b】＋【c】－【d】＋【e】＋【f】() 数値はマイナス。

再交付 (年度中)	A(重 度)		B(中軽度)		計
	18歳未満	18歳以上	18歳未満	18歳以上	
	12	57	27	160	

※再交付計は、紛失や汚損等による件数。

(2) 相談判定の実施状況

知的障害者更生相談事業における相談内容は、療育手帳に関する相談が全体の81.6%を占めています。次に、年金・手当申請のための証明書発行等が18.4%を占めています。

療育手帳相談の内訳では、新規の療育手帳交付申請のための相談が7.4%で、療育手帳交付後の障害程度確認のための再判定に係る相談が92.6%となっています。

証明書発行等の内訳は、年金・手当申請のための証明書が82.4%、次いで仙台市や他県からの情報照会が、17.6%となっています。

① 面接判定実施状況

(単位：回，人)

相談形態		実施回数		取扱実人員	
来所相談		33		77	
巡回相談	地域巡回相談	42	41	82	81
	在宅等訪問相談		0		0
	施設巡回相談		1		1
計		75		159	

② 地域巡回相談実施状況

(単位：回，人)

広域圏	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	合計
相談会場 (保健福祉 事務所)	県仙南	県大崎	県栗原	県登米	県石巻	県気仙沼	
実施回数	3	12	2	8	10	6	41
実人員	6	28	6	16	18	7	81

③ 施設巡回相談実施状況

施設種別	実施回数	取扱 実人員	相談内容			
			療育手帳関係		特別要介護	その他
			新規判定	再判定		
施設入所支援事業所	(回) 1	(人) 1	(件)	(件)	(件) 1	(件)
生活介護事業所等						
相談支援事業所						
計	1	1	0	1	0	0

④ 知的障害者相談の内容別状況

(単位：人，件)

区分 相談 形態	実 人員	相談内容									判定内容					判定書交付件数			
		施設	職 親 委託	職 業	医 療 保 健	生 活	教 育	療 育 手 帳	証 明 書 発 行 等	計	医 学	心 理	職 能	そ の 他	計	程 度 区 分	療 育 手 帳	そ の 他	計
来所	973	0	0	0	0	0	0	973	238	1,211	27	77	77	77	258	0	973	315	1,288
巡回	82	0	0	0	0	0	0	82	0	82	22	82	82	82	268	0	82	82	164
計	1,055	0	0	0	0	0	0	1,055	238	1,293	49	159	159	159	526	0	1,055	397	1,452

⑤ 知的障害者相談の年度別推移

(単位：人，件)

区分 相談 年度	実 人員	相談内容									判定内容					判定書交付件数			
		施設	職 親 委託	職 業	医 療 保 健	生 活	教 育	療 育 手 帳	証 明 書 発 行 等	計	医 学	心 理	職 能	そ の 他	計	程 度 区 分	療 育 手 帳	そ の 他	計
H28	842	0	0	0	0	1	0	841	288	1,130	57	303	303	303	966	0	841	591	1,432
H29	956	0	0	0	0	0	0	956	317	1,273	55	359	359	359	1,132	0	956	676	1,632
H30	952	0	0	0	0	0	0	952	260	1,212	61	328	328	328	1,045	0	952	588	1,540
R1	1,033	0	0	0	0	0	0	1,033	265	1,298	45	333	333	333	1,044	0	1,033	598	1,631
R2	1,055	0	0	0	0	0	0	1,055	238	1,293	49	159	159	159	526	0	1,055	397	1,452

⑥ 知的障害者相談の地域別状況

(単位：人，件)

相談内容別 市町村		実 人 員	施 設	職 親 委 託	職 業	医 療 保 健	生 活	教 育	療育手帳		そ の 他	合 計	療育手帳(新規) の判定状況			
									新 規	再 判 定			A	B	非 該 当	
仙南	白石市	53							1	47	5	53		1		
	角田市	52							1	46	5	52		1		
	蔵王町	8								7	1	8				
	七ヶ宿町	2							1	1		2		1		
	大河原町	27								23	4	27	240			
	村田町	17								14	3	17				
	柴田町	47							3	35	9	47		3		
	川崎町	8								7	1	8				
	丸森町	26							2	18	6	26		2		
仙台	塩竈市	41							2	29	10	41		2		
	名取市	69							1	53	15	69		1		
	多賀城市	48							1	35	12	48		1		
	岩沼市	30							5	21	4	30		4	1	
	富谷市	29								24	5	29				
	亘理町	50							3	40	7	50		1	2	
	山元町	11							2	8	1	11	390	1	1	
	松島町	13							1	10	2	13		1		
	七ヶ浜町	23								18	5	23				
	利府町	26								20	6	26				
	大和町	27							1	17	9	27		1		
	大郷町	12								11	1	12				
	大衡村	11							1	9	1	11		1		
大崎	大崎市	135							11	98	26	135	213	1	7	3
	色麻町	2							1	1		2		1		
	加美町	35							3	25	7	35		1	2	
	涌谷町	17								14	3	17				
	美里町	24							3	16	5	24		1	2	
栗原	栗原市	94							5	73	16	94	94		5	
登米	登米市	129							10	96	23	129	129	2	8	
石巻	石巻市	117							12	79	26	117				
	東松島市	30							2	19	9	30	150		12	
	女川町	3								3		3		1	1	
本吉 気山沼	気仙沼市	56							5	42	9	56	77		5	
	南三陸町	21							1	18	2	21		1		
合計		1,293							1,055		238	1,293	7	66	5	
								78	977							

⑦ 相談者の障害程度状況

(単位：人)

障害程度	最重度	重度	中度	軽度	その他	計
実人員	33	72	529	416	5	1,055
割合(%)	3.1%	6.8%	50.2%	39.4%	0.5%	100%

⑧ 相談者の年齢別状況

(単位：人)

区分	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計	割合(%)
男	101	183	133	111	76	42	646	61.2%
女	56	115	90	74	50	24	409	38.8%
計	157	298	223	185	126	66	1,055	100%
割合(%)	14.9%	28.3%	21.1%	17.5%	11.9%	6.3%	100%	

⑨ 相談者の合併障害状況

(単位：人)

年 度		H28	H29	H30	R1	R2
実人員		842	956	952	1,033	1,055
精神障害	てんかん	143	154	135	158	157
	統合失調症	63	54	41	47	65
	そう・うつ病	13	12	20	19	7
	心因反応	11	7	4	5	4
	その他	52	109	97	138	243
	計	282	336	297	367	476
身体障害	肢体不自由	74	75	66	76	86
	視覚障害	12	8	8	3	14
	聴覚障害	9	8	5	9	11
	音声・言語障害	3	2	3	4	1
	内部障害	21	13	10	7	14
	計	119	106	92	99	126
合併障害なし		504	537	623	651	730

※ 複数の障害のある場合はそれぞれに計上している。

※ その他は、発達障害を含む。

(3) 障害者支援施設利用者相談事業

本事業については、当初、更生相談所の施設相談事業として実施し、平成15年度の支援費制度に合わせて、施設利用者相談事業と名称を変え、事業を展開してきました。また対象者は、身体障害者援護施設から知的障害者施設へと拡大し、最近では知的障害者が主となっていました。

平成25年度において本事業の在り方・位置づけを所全体として検討し、平成26年度から保健福祉事務所の地域リハ活動に移行することとし、当所は保健福祉事務所の後方支援として、専門的技術支援を行っています。

(4) 知的障害者福祉担当職員研修会の開催

研修名	実施年月日	対象者	研修内容	参加者
知的障害者福祉担当新任職員研修	R2.6	市町村及び県保健福祉事務所の知的障害者福祉担当新任職員等	<ul style="list-style-type: none">療育手帳制度の概要知的障害の定義と判定基準療育手帳交付事務について療育手帳判定事務について	(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催)

(5) 地域生活支援の推進に関する業務

知的障害者の相談及び指導のうち専門的な知識及び技術を必要とする処遇困難なケースに対して、援護の実施者である市町村と連携のもと、地域の知的障害者とその家族の全体的な支援を行い、地域のネットワーク化を推進するため、支援検討会議を開催しています。

令和2年度においては改めて会議形式はとらなかったものの、市町村から対応困難事例に対する電話等での相談があり、助言指導を行いました。また、療育手帳判定ケースの中に、障害程度変更の希望や処遇困難を主訴とする事例もあり、面接判定後に市町村や相談支援事業所等の支援者も含めた判定会議を開催しており、処遇検討、支援の向上に努めました。

4 診療部門における リハビリテーション事業

(1) 障害者医療相談事業（障害者クリニック）

(2) 外来利用者のリハビリテーション医療

診療所では、平成 25 年度から常勤医師が 2 人体制となり、リハビリテーション科・整形外科・脳神経外科を設置し、受診を希望する方からの予約や医療機関からの紹介を受け、各種相談やボツリヌス療法及び障害年金申請用診断書等の作成や理学療法・作業療法・言語療法を実施しています。施設基準は、障害児（者）リハビリテーション料、脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）、運動器等リハビリテーション料（Ⅱ）を取り、疾患別リハビリテーションを行っています。

現在のリハビリテーション利用者は、専門医の判断でリハビリテーションの継続が有効であると判断された方です。具体的には、今後もリハビリテーションの介入により機能改善や能力の向上が期待される方、成人の脳性麻痺の方や、若年および壮年期の脳血管障害等で就労や職場復帰を目標としている方などです。

外 来 診 療 状 況 （延べ人数）

（単位：件）

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		初診及び再診	63	32	148	104	105	130	140	125	126	114	124	148
主な延べ内訳	理学療法	14	0	53	37	39	41	49	50	45	50	57	66	501
	作業療法	15	0	40	35	33	38	40	34	33	28	27	33	356
	言語療法	0	0	3	3	3	4	4	8	6	6	8	7	52
	年金・手帳の診断書	6	0	4	2	1	3	1	2	2	2	5	3	31
	ボツリヌス療法	2	4	6	6	2	5	10	3	3	8	8	6	63
	検査(知能・認知・神経)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
R 元年度 初診・再診		130	144	164	142	134	141	142	134	147	127	132	123	1,660

(3) 障害者検診事業

平成 25 年度からポリオ等による肢体不自由の方を対象に、身体機能やADLの低下を早期に発見し、二次障害の予防、機能の維持・改善、症状緩和を目的に、身体状況の評価等の検診を始めました。受検された方の満足度が高く、平成 26 年度から身体障害者手帳（肢体不自由）を所持している 18 歳以上の方等に対象を拡大しました。

また、センター会場の他、遠方に住んでいるためセンターにおいて受検するのが困難な障害者が、移動負担の少ない近場での受検ができるように、平成 30 年度から試行的に 6 圏域（気仙沼、登米、石巻、栗原、大崎、仙南）での巡回検診に取り組み、令和 2 年度から定例で実施しました。

① 実施場所（実施回数・定員）

圏域	会場名	所在地	実施回数	定員 (1回あたり)	計	
仙南	蔵王町地域福祉センター	蔵王町	1	5	5	
仙台	1 宮城県リハビリテーション支援センター	名取市	6	6	36	
	2 利府町保健福祉センター	利府町	2	5	10	
大崎	宮城県大崎合同庁舎	大崎市	2	5	10	
栗原	宮城県栗原合同庁舎	栗原市	1	5	5	
登米	宮城県登米合同庁舎	登米市	1	5	5	
石巻	宮城県石巻合同庁舎	石巻市	1	5	5	
気仙沼	宮城県気仙沼保健福祉事務所	気仙沼市	1	5	5	
				センター	-	36
				巡回	-	45
				計	-	81

※当所センター7回、計87名を計画していたが、新型コロナウイルスの影響により中止とした。

② 検診内容

項目	内容	備考
問診等	問診票, FAI 自己評価表 (IADL の評価表), SF-36 (QOL の評価表) の記入	問診票, IADL (手段的日常生活活動: 家事, 金銭管理, 趣味等), QOL (生活の質) に関する質問に対して, 自身で記入する。(書字が困難な場合は介助者でも可)
測定	身長・体重・血圧・握力・肺活量	
計測	四肢周径・四肢長	仰向けで左右の手足の長さ・太さを計測する。
評価	FIM: 日常生活動作の評価	セルフケア・排泄・移乗・移動に関して, 本人(家族)に聞き取り, 評価する。
	MMT: 筋力の評価	評価者の指示に沿って体を動かし, 筋力を評価する。
	ROM: 関節可動域の評価	評価者が手足等を動かして, 関節の動く範囲を計測する。
	10m歩行速度: 歩行能力の評価	歩行が可能な方については, 歩く速さを計測する。
医療相談	リハビリテーション科医師による医療相談を実施する。	医師が結果を伝え, 個々の相談に応じる。必要な場合には医療機関への受診の提案, 利用可能な制度の情報提供, 補装具・動作の工夫に関する助言等を行う。
生活指導	医療相談で必要と判断された場合に	
保健指導	専門職が実施する。	

③ 受検者数（新規・複数回別）の推移

年 度	H30		R1		R2	
項目 \ 人数	人数	割合	人数	割合	人数	割合
新規	32	61.5%	29	47.5%	29	51.8%
複数回	20	38.5%	32	52.5%	27	48.2%
計	52	100.0%	61	100.0%	56	100.0%

④ 受検者数（会場別）

項 目	定員 【a】	申込 【b】	実施 【c】	キャン セル 【d】	実施率 【c/a】	備考欄
蔵王町地域福祉センター	5	4	4	0	80.0%	
リハビリテーション支援センター	36	30	28	2	77.8%	※1回中止
利府町保健福祉センター	10	10	8	2	80.0%	
大崎合同庁舎	10	5	5	0	50.0%	
栗原合同庁舎	5	4	4	0	80.0%	
登米合同庁舎	5	2	2	0	40.0%	
石巻合同庁舎	5	5	4	1	80.0%	
気仙沼保健福祉事務所	5	1	1	0	20.0%	
計	81	61	56	5	69.1%	

※新型コロナウイルスの影響により、1回中止した。

⑤ 年齢構成

項 目	人数	割合
18～29 歳	1	1.8%
30～39 歳	0	0.0%
40～49 歳	7	12.5%
50～59 歳	4	7.1%
60～69 歳	22	39.3%
70～79 歳	21	37.5%
80 歳以上	1	1.8%
計	56	100.0%
平均年齢	64.8	-

⑥ 男女構成

項 目	人数	割合
男 性	28	50.0%
女 性	28	50.0%
計	56	100.0%

⑦ 身体障害者手帳の所有状況

項目	人数	割合
1級	5	8.9%
2級	15	26.8%
3級	15	26.8%
4級	14	25.0%
5級	6	10.7%
6級	1	1.8%
7級	0	0.0%
無	0	0.0%
合計	56	100.0%

⑧ 主傷病

項目	人数	割合
ポリオ	21	37.5%
骨・関節疾患	15	26.8%
脳卒中, その他の脳疾患(脳外傷)	9	16.1%
脳性麻痺, その他の小児疾患	5	8.9%
神経及び筋疾患	3	5.4%
脊髄損傷, その他の脊髄疾患	1	1.8%
切断	1	1.8%
呼吸器・循環器疾患	0	0.0%
その他(悪性腫瘍, 熱傷など)	1	1.8%
計	56	100.0%

⑨ 自覚症状

(複数回答あり)

項目	計	割合
筋力低下	30	53.6%
筋肉が痩せた	22	39.3%
歩行障害	36	64.3%
疲労感	23	41.1%
冷感	18	32.1%
身体の変形	19	33.9%
痛み	36	64.3%
つっぱり	10	17.9%
しびれ	16	28.6%
息切れ	3	5.4%
飲み込みにくさ	7	12.5%
その他	18	32.1%

⑩ 医療相談における医師からの助言内容

(複数回答あり)

項目	件数	割合
経過観察	25	44.6%
補装具助言	16	28.6%
運動指導	13	23.2%
当院受診の提案	8	14.3%
他院受診の提案	7	12.5%
その他	22	39.3%

5 高次脳機能障害者支援事業

高次脳機能障害者支援事業は当センター支援コーディネーター(作業療法士1名・言語聴覚士1名)を中心に相談事業や研修事業を行いました。

(1) 相談事業

① 電話相談・来所相談・家族相談

	実件数	延件数	相談者 (延べ)		居住地 (延べ)		
			本人 家族	その他	県内	仙台市	その他 ・不明
電話	36	42	19	23	27	10	5
所内	5	8	4	4	4	4	0
家族	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	2	2	0	1	1	0
計	43	52	25	27	32	15	5

(「その他」はメールによるもの、相談者の「その他」は支援者等からのもの)

相談内容内訳 (延べ件数)

内容	件数	内容	件数
障害に関すること	16	就労・復職	12
診断・評価	13	日常生活	3
診断書作成	5	就学・復学	2
リハビリ	10	家族交流会	1
相談機関	13	連携パス	0
サービス・支援資源	13	その他	19
制度	6		

① 巡回相談 依頼なし

② 家族学習会

実施回数：1回(参集人数19人)(会場：当所)

講話, 質疑応答

講話内容：なりたい自分になるために！～今まで、そしてこれからへの挑戦～

講話：高次脳機能障害のある当事者とその御家族

(2) 研修事業

令和2年度宮城県高次脳機能障害研修事業（広域研修）

- ・開催日 令和3年1月27日（水）午後1時30分から午後2時45分
- ・場所 宮城県子ども総合センター 会議室（WEBと参集型のハイブリッド形式）
- ・研修内容
 - 講演 「誰にでも起きうる見えない障害 ～高次脳機能障害とその対応について～」
 - 講師 東北医科薬科大学病院 高次脳機能障害支援センター
副センター長・神経内科医 菊池 大一 氏
- ・対象者 一般県民（参集人数 24人）

(3) 高次脳機能障害支援担当職員養成事業

関連する会議・研修等への参加

開催日時	内 容
R2. 6. 24	第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会（WEB）
R2. 7. 17	第1回高次脳機能障害者支援コーディネーター全国会議（WEB）
R3. 2. 26	第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会（WEB） 第2回高次脳機能障害者支援コーディネーター全国会議（WEB）
R3. 1	高次脳機能障害者支援事業担当者東北ブロック会議（書面開催）

(4) 高次脳機能障害に関する支援体制の整備

① 高次脳機能障害者支援ネットワーク会議の開催

開催日時	内 容
R3. 3. 19	参集者：支援拠点病院，地域支援拠点病院，障害福祉課 12人 方法：宮城県子ども総合センター 会議室（WEB開催） 内容： (1) 高次脳機能障害支援拠点病院及び地域拠点病院における現状の共有 (2) 情報交換 (3) その他

① 広報等

日 時	内 容
随 時	指定障害福祉サービス事業者等集団指導として事業パンフレット提供
随 時	ホームページ 更新

6 その他

(1) 令和2年度学会発表・研修会講師等一覧

年月日	学会・研修会等名称	演 題	開催地	演者
R2. 8. 19	第57回日本リハビリテーション医学会学術集会	治療用装具の種類別に見た痙縮出現の差 ～4年分の更生用装具の初回判定記録より～	京都府京都市 (Web 参加)	西嶋一智
R2. 8. 20	第57回日本リハビリテーション医学会学術集会	更生相談所の立場からみた生活期の装具療法	京都府京都市 (Web 参加)	西嶋一智
R2. 8. 20	第57回日本リハビリテーション医学会学術集会	更生相談所から見た地域リハビリテーション ～宮城県の実状～	京都府京都市 (Web 参加)	西嶋一智
R2. 11. 22	第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	義肢支給制度の現状からみる「制度的な適応」	兵庫県神戸市 (Web 参加)	西嶋一智
R2. 11. 22	第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	最先端義肢が認可されるまで	兵庫県神戸市 (Web 参加)	樫本 修
R3. 1. 28	令和2年度政策提案コンテスト本審査	「予備保健師」任用制度の導入による保健師業務のレジリエンス向上	仙台市青葉区	西嶋一智
R3. 2. 27	第1回補装具の効果的なフォローアップに関するシンポジウム	身体障害更生相談所における現状調査	東京都	樫本 修

(2) 論文・原稿掲載等一覧

著者	論文名	掲載雑誌等	備考
榎本 修	榎本修ら：最先端義肢が認可されるまで	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol.57. Autumn 号, S250, 2020	
	榎本修、西嶋一智ら：身体障害更生相談所における現状調査	補装具費支給制度における適切なフォローアップ等のための研究 令和2年度総括・分担研究報告書. 6-17, 2021	
西嶋一智	西嶋一智：更生相談所から見た地域リハビリテーション ～宮城県の実状～	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol.57. Supplement 号, S318, 2020	
	西嶋一智：更生相談所の立場からみた生活期の装具療法	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol.57. Supplement 号, S346, 2020	
	西嶋一智ら：治療用装具の種類別に見た痙縮出現の差 ～4年分の更生用装具の初回判定記録より～	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol.57. Supplement 号, S656, 2020	
	西嶋一智ら：義肢支給制度の現状からみる「制度的な適応」	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol.57. Autumn 号, S253, 2020	

(3) リハビリテーション専門職養成施設校講義等

年月日	学校名	内容	備考
R2. 7. 13	東北大学 医学部医学科	リハビリテーション医学 「地域リハビリテーション」	4年生 80名
R2. 8. 5	東北文化学園大学 医療福祉学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	地域作業療法学Ⅱ 地域リハビリテーション	3年生 21名
R2. 11. 9	東北大学 医学部保健学科看護学専攻	リハビリテーション学 「脳卒中と後遺症 -リハビリテーションにおける「医学」-」	2年生 70名
R2. 11. 27 R2. 12. 4	東北文化学園大学 医療福祉学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	義肢装具学 ①「切断術と断端管理」 「補装具の支給体系」 ②「切断の医学的リハビリテーション」	2年生 80名

(4) 研究活動・その他

氏名	内容
榎本 修	全国身体障害者更生相談所長協議会 補装具判定専門委員会 委員長
	日本リハビリテーション医学会 切断義肢 SIG 顧問
	厚生労働省補装具評価検討会 構成員
	厚生労働科学研究「補装具費支給制度における種目の構造と基準額設定のあり方に関する調査研究」 分担研究者
	厚生労働科学研究「補装具費支給制度等における適切なフォローアップ等のための研究」 分担研究者
西嶋一智	東北大学医学部医学科・保健学科 学部非常勤講師
	東北文化学園大学 非常勤講師
	日本リハビリテーション医学会 代議員 障がい者福祉委員会 委員 身体障害者診断書・意見書の書き方作成委員会 委員 切断義肢 SIG コアメンバー 痙縮治療 SIG コアメンバー 東北地方会 幹事
	日本義肢装具学会 認定制度委員会 委員
	全国身体障害者更生相談所長協議会 補装具判定専門委員会 委員
	全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 理事
	東北摂食嚥下リハビリテーション研究会 幹事
	厚生労働科学研究「補装具費支給制度等における適切なフォローアップ等のための研究」 研究協力者